

「公共ホールの最適化に向けた取組方針（案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

1 概要

本市では、令和 4(2022)年 3 月に「資産マネジメント第 3 期実施方針」を策定し、施設が持つ機能に着目した「機能重視」の考え方に基づき、施設の複合化や多目的化等の「資産保有の最適化」に重点的に取り組むこととしています。

公共ホールについては、築 30 年以上となる施設が多く、施設・設備の老朽化やバリアフリーへの対応などの課題に加え、客席利用率が低い利用やホール設備がなくても対応可能な用途での利用など、利用用途とホールが保有する機能との不一致といった課題もあり、現在の利用ニーズ等に対応した機能の提供が求められています。

そこで、利用状況等を踏まえながら、あるべき機能を検討するとともに、更なる施設利用の機会を提供することが可能となるよう、施設の適正配置（公共ホールの最適化）について検討を行ってきました。

この度、これまでの検討経過や今後の取組の方向性等を「公共ホールの最適化に向けた取組方針（案）」として取りまとめ、市民の皆様の御意見を募集し、その結果、188 通（意見件数 620 件）の御意見をお寄せいただきましたので、その内容とそれに対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

意見の募集期間	令和 7（2025）年 11 月 28 日（金）～令和 8（2026）年 1 月 16 日（金）（50 日間）
意見の提出方法	持参、FAX、郵送、インターネット（意見提出フォーム、メール）
募集の周知方法	・市政だより（令和 7 年 12 月 1 日号掲載） ・本市ホームページ ・資料の閲覧（各区役所、支所及び出張所の市政資料コーナー、各市民館、各図書館、かわさき情報プラザ、川崎能楽堂、国際交流センター、川崎市民プラザ、男女共同参画センター、総務企画局公共施設総合調整室） ・利用団体（44 団体）などへのメール等
結果の公表方法	・本市ホームページ ・資料の閲覧（各区役所、支所及び出張所の市政資料コーナー、各市民館、各図書館、かわさき情報プラザ、川崎能楽堂、国際交流センター、川崎市民プラザ、男女共同参画センター、総務企画局公共施設総合調整室）

3 結果の概要

意見提出方法	意見提出数（意見件数）
持参	0 通（ 0 件）
F A X	6 0 通（2 2 1 件）
郵送	6 6 通（2 5 9 件）
インターネット	6 2 通（1 4 0 件）
合計	1 8 8 通（6 2 0 件）

4 御意見の内容と対応

「公共ホールの最適化に向けた取組方針（案）」に対する御意見として、今後の取組の進め方に関することや、個別施設に関することなどの御意見をいただきました。

寄せられた御意見が案に沿ったものや、今後の参考とするもの、要望等であったことから、所要の整備を行った上で案のとおり「公共ホールの最適化に向けた取組方針」を策定します。

【御意見に対する本市の考え方の対応区分】

- A 御意見を踏まえ、案を加筆・修正するもの
- B 御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ取組を推進するもの
- C 今後取組みを進める中で参考とするもの
- D 案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E その他

【御意見の件数と対応区分】

項 目	A	B	C	D	E	計
(1) 今後の取組の進め方に関する事	0	6	1	276	0	283
(2) 個別施設に関する事	0	1	2	290	0	293
(3) 利用状況等の分析・評価に関する事	0	1	3	21	0	25
(4) 既存施設の機能改善に関する事	0	0	0	5	0	5
(5) 取組方針の記載に関する事	1	0	0	1	1	3
(6) その他	0	0	1	5	5	11
合 計	1	8	7	598	6	620

- A 御意見を踏まえ、案を加筆・修正するもの
- B 御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ取組を推進するもの
- C 今後取組みを進める中で参考とするもの
- D 案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E その他

(1) 今後の取組の進め方に関すること

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	今後人口の減少が進む中で、施設をどう維持管理していくかが大きな問題だと思います。	公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。	B
2	本取組方針は必要な方針であると思いました。こうした方針は施設を利用する方の意見が尊重されやすいので注意が必要と考えます。施設を利用しない市民についても納得できるよう今後も必要な取り組みを望みます。		B
3	公共ホールの運営に偏りや無駄があるのであれば、将来を見据えて見直しを行うことには賛成いたします。ただ、公共施設は市民の文化活動や地域のつながりを支える大切な基盤であり、最適化の結果として文化活動が縮小したり、市民が活動の場を失ったりすることのないよう、慎重な検討を望みます。		B
4	全需要を移転可能でない場合でも施設統合の検討は必要であると思います。さらに、収支状況が悪い中で、全需要を取り込む必要性を説明することは難しいのではないのでしょうか。		B
5	行政の公の行事で大ホールを使用するのは考え直して 土・日、祭日はどこでも 20 数倍の狭き門です。多くの日曜日は行政の公の行事でふさがれていて、市民が土日の抽選に参加できるのは毎月 1 日か 2 日間です。川崎にホール自体が少ないことが根本的な大問題ですが、行政の公の行事なら、まず市役所や区役所の大会議室などを使うべきではないのでしょうか。	公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。 なお、ホールの行政利用についても、需要移転の検討等を行ってまいります。	B

6	<p>ホール機能の集約化や役割分担を行うことが、利用環境の向上やニーズに合った機能の提供といったサービス面の向上とともに、建替えや維持管理費用などを抑制することを目指す取組と言われていますが、主な効果として説明されている部分が分かりづらいように感じました。集約化、役割分担によりこれまで利用していた方たちが納得するための説明が必要だと感じます。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、本取組を進めるに当たり、具体の取組内容や効果等について、検討状況などを踏まえながら、適時適切に周知を図ってまいります。</p>	B
7	<p>川崎市の公共ホールは他都市に比べ著しく不足している。最適化のモデル地域とされる高津区こそ、統廃合ではなく拡充が必要である。発表会や定期的な合唱練習などの文化活動の小ホールやピアノのある練習室等の受け皿が圧倒的に不足している。 (同趣旨他 118 件)</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p>	D
8	<p>公演や練習の会場を取るのには本当に大変です。どこでもピアノのある音楽室の倍率も大変なものです。大中小の公共ホールをもっと増やして、運用面でも改善してください。 (同趣旨他 2 件)</p>		D
9	<p>川崎市には公共ホールがとても少ないうえ、大人数で利用が可能な大ホールの確保がこれまで以上に難しくなっています。大人数の合唱団や器楽演奏団の練習会場を増やしてください。</p>		D
10	<p>川崎市には音響の良い中規模ホールがないため、もっと整備されると良い。</p>		D
11	<p>音楽に関しては、今でさえ人口の割に公共施設をとりづらい（抽選倍率高い）と感じているのに、「最適化」というより「縮小化」にならないかと危惧しています。</p>		D
12	<p>「てくのホール」を利用していますが、最近は会場確保が難しくなり、ピアノ付きで大人数が声を出せる会場が限られているため、苦勞して中原区や多摩区、麻生区などに向いて練習することも多くなって、皆不便な思いをしています。このような問題を解決するためには、もっと会場の数を増やす方向で検討すべきではないかと思います。</p> <p>市民が豊かに活動できる場所を提供できるよう、会場を増やす方向で考えていただきたいと思います。</p>		D

13	<p>交通の便の良い施設は利用頻度が高いと思われます。今後の高齢化を見据えますと、 現有の利便性の高い施設についてできる限り拡充していただくと、市民生活の充実、 特に高齢者が活動できる場が確保できることで健康維持にも繋がり、ひいては医療費の 削減にも繋がるのではと思います。</p>		D
14	<p>提示されている「近隣施設への振り分けシミュレーション」は興味深いものでしたが、実 際には団体規模や活動内容により、パズルのようにきれいに当てはまるものではありません。 特に大規模団体は利用可能な会場に限られており、現状の需給バランスでは振り 分けが成立しないケースが多いと考えます。</p> <p>最適化の結果として文化活動が縮小したり、市民が活動の場を失ったりすることのないよ う、慎重な検討を望みます。</p>		D
15	<p>現在ある施設の老朽化に伴う統廃合は望みません。現状でも予約希望が殺到して いる状態で、施設が減ってしまうことは文化水準の低下につながっていると思います。特に 子どもたちの発表の機会の場として機能するホールを未来のために引き続き継続して運 営してほしいです。</p>		D
16	<p>市民がより活発に音楽活動をしていけるようにするためにも、公共ホールや施設はとて も大切なので、新しい施設を是非計画してほしいです。市民が活発に活動する場が沢 山あれば、健康維持にもつながり川崎市は“元気なまち”になれると思いますので、是非 施設の維持や、新しい施設の建設を検討していただきたいです</p>		D
17	<p>コミュニティをつくるとき、公共ホールは柱である。分断・バラバラになっている中、孤独 で居場所を求めている人は少なくない。中規模公共ホールを各区 2 か所くらいは欲し い。学校を含む文化関係が合宿、ミニ企画、発表するくらいの公共ホールが欲しい。 物流センター、倉庫は欲しくない。人が集い楽しむ安全な場所がほしい。</p>		D
18	<p>「音楽のまち川崎」としてスローガンをあげているのに、その基盤となる、練習、発表、 鑑賞する公共の会場が統合や縮小されたりせず、そのまま存続して欲しいと思います。</p>		D
19	<p>子供が合唱をやってます。練習やコンサートに利用できるホール等は貴重で、今後も 利用していきたいです。</p>		D

20	<p>民間施設との連携とありますが、川崎市には実際にそんなに沢山ありません。民間は利益を求めますが、公立は違う。存在目的が違うことを念頭においてほしい。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>なお、本取組を進めるに当たっては、利用団体等の御意見も丁寧に向いながら、民間施設も含めた需要移転の可能性についても検討してまいります。</p>	D
21	<p>この数年、所属する合唱団の会場確保は、他団体との競争率上昇により、困難になってきました。練習の場や発表の場が不足することは、「市民が主役の文化芸術」という振興計画の根幹を揺るがしかねません。建物の維持管理費という財政的観点だけでなく、市民がどうすれば文化活動を継続できる場所を確保できるのかという観点から再検討していただきたいと思います。ぜひ公共施設・ホールは拡充を図る方向での再検討を、よろしくお願いします。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、練習利用などホール以外の場所でも実施可能なニーズへの対応は、公共ホールの最適化を進める上で、必要な取組の一つであると考えており、練習利用可能な場所の適正配置や練習需要の移転などについても、今後、検討してまいります。</p>	D
22	<p>行政案は工事期間中の代替会場について全く触れていない。代替会場の確保は「最適化」方針の中心テーマの一つにしなければならない。 (同趣旨他 118 件)</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>工事期間中の代替場所の必要性については、上記検討・整理の中で、検討してまいります。</p>	D

23	<p>本番利用率が低いこと、練習利用が多いことが問題とされていますが、むしろピアノなどの設備を備えた規模の大きな（例えば 100 人規模の）練習場が不足しているという状況への対応が必要なのではないでしょうか。利用者サイドから見ると、練習で高い料金を払う必要がなくなりますし、練習の需要がそちらに流れ、本番利用の競争率低下が期待できると考えます。</p> <p>（同趣旨他 5 件）</p>	<p>練習利用などホール以外の場所でも実施可能なニーズへの対応は、公共ホールの最適化を進める上で、必要な取組の一つであると考えており、練習利用可能な場所の適正配置や練習需要の移転などについても、今後、検討してまいります。</p>	D
24	<p>小規模な合唱団体の場合、練習利用が圧倒的に多いので、練習の場の確保が重要である。また、学校の音楽室や体育館などが練習利用できると良い。</p> <p>（同趣旨他 4 件）</p>		D
25	<p>最近のホールは多目的化しすぎて、同区近隣の中原市民館ホールなどはダンス練習で占められていたりなど、他の部屋でも代替できるようなジャンルのものなら、ホール使用を制限してもらい、ホールならではの機能に特化してもらいたいと思います。</p>		D
26	<p>ホールの練習利用については、「代替施設がないこと」がホールの練習利用の増加につながっている側面が大きいと考えます。統廃合が本当の最適となった場合も代替会場の確保が前提になることを切に望みます。</p>		D
27	<p>吹奏楽・オーケストラのように広さを要するもの、また和太鼓のように防音・防振性を要するものなど、ホール以外でその機能を代替できる規模の部屋が少ないのが問題と思います。和太鼓で言えば、資料（公共ホールの最適化に向けた取組方針（案）p20）では幾つかの場所が使用可と書かれていますが、実際は防音・防振の問題から練習可の場所が限られます。（例えば産業振興会館や中原市民館は不可、高津市民館も下階貸切が条件となる。）</p>		D

28	<p>オーケストラの本番利用は限られているため、練習ができる場所が確保されることが望ましい。中規模ホールを整備する場合はステージの大きさや、搬入動線も考慮してほしい。オーケストラの利用が許可されない施設については、貸し出しの基準を見直してほしい。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>練習利用などホール以外の場所でも実施可能なニーズへの対応は、公共ホールの最適化を進める上で、必要な取組の一つであると考えており、練習利用可能な場所の適正配置や練習需要の移転などについても、今後、検討してまいります。</p> <p>また、各施設の運用面・機能面の改善については、引き続き、利用団体等の御意見も丁寧に伺いながら検討してまいります。</p>	D
29	<p>稼働率を高めるために、ダイナミックプライシング（変動価格制）を導入するなど、まだまだ工夫の余地はあるように思われます。なお、本番利用を増やしたいということであれば、まずは本番利用を優先した抽選方法、選別方法を導入するのが筋だと思われます。それをしないまま利用合理性が低いとして、問題施設というレッテルを貼るのは公平を欠くように思われます。</p> <p>（同趣旨他 1 件）</p>	<p>最適化に向けた取組と並行し、利用合理性や経済合理性の向上に向け、既存施設の活用方法についても検討してまいります。</p> <p>また、各施設の運用面・機能面の改善については、引き続き、利用団体等の御意見も丁寧に伺いながら検討してまいります。</p>	D
30	<p>練習時の利用料が半額になっているところ(男女共同参画センターのホール等)があり、練習でのホール利用を助長している側面も否めない。また、夜間の利用料が高くなっていますが、休日はその夜間割増に休日割増が加算されることから、休日昼間に比べても休日夜間が著しく高くなり、利用敬遠されやすい現状もあり、使用率低下に拍車をかけていると思われます</p>		D

31	文化活動や文化イベント開催の諸団体やグループの現状を把握し、その意見や要望を広範に聞いて集約しているのでしょうか。それこそ公共ホール「最適化」方針の出発点です。	これまで、利用団体等から様々な御意見等をいただいております。今後検討を進めるに当たりまして、引き続き、御意見等を丁寧に伺いながら、取組を進めてまいります。	D
32	取組方針策定後も、しっかりと利用者ニーズを反映するための意見収集の機会を設けてもらいたい。		D
33	現在の利用状況や将来の利用想定を踏まえながら、あるべき機能を検討するとともに、更なる施設利用の機会を提供することが可能となるよう検討を行っているとのことですが、利用者である市民の声が少しも反映されていません。		D
34	公共ホールについて、お金やコストの追求が市民の利益になるのでしょうか。『公共ホールの最適化に向けた検討を進めます』とありますが、その検討の方向性が見えません。公共ホールが今より少なくなるのではと不安です。公共ホールの最適化ではなく、市民利用の最適化を考えて検討を進めてほしい。進めるにあたっては市民への周知をするべきです。	公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。 また、本取組を進めるに当たり、具体的な取組内容や効果等について、検討状況などを踏まえながら、適時適切に周知を図ってまいります。	D
35	何が出来る施設でどういった利用が可能なのかを広く認知させる必要があると思うので、公共ホール、公立施設内だけでなく学校にもチラシを再度配布できるようにしてください。イベントアプリの利用者はほぼおらず、市内公立学生やその保護者の方はそういった意味では情報弱者になっています。パブコメ回収のための紙を捻出できるのであればこちらも紙を使わせてください。認知度の減少が問題なのであれば認知度を上げるための手段を捨てさせないでいただきたいです。	最適化に向けた取組と並行し、利用合理性や経済合理性の向上に向け、既存施設の活用方法についても検討してまいります。 また、各施設の運用面・機能面の改善については、引き続き、利用団体等の御意見も丁寧に伺いながら検討してまいります。 いただいた御意見を参考に、施設の認知度向上に向けた検討も行なってまいります。	C
36	取組の結果を検証していただき、修正していただく柔軟性も含めていただけますようお願いいたします。	公共ホールの最適化は、8～15年程度の期間を想定しており、取組の各段階で得られた結果などを踏まえながら、効率的・効果的な取組となるよう、必要に応じ、取組の進め方等について修正してまいります。	D

(2) 個別施設に関すること

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
37	<p>高津区におけるホール「最適化」の具体的な提案としては、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと劇場は、棟ごとに大規模改修し、広大な屋内広場との連携を強化することを提案する。 ・すくらむ 21 は、1,000 席級の大ホールへ建替えて、川崎中部の中核ホールに。 ・てくのかわさきは、駅にも近く需要もきわめて高いので、高層化し大拡充を。 <p>(同趣旨他 118 件)</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>市民プラザにつきましては、令和 7 年 11 月に公表いたしました「市民プラザ現施設の利用終了に伴う新たな施設整備についての基本的な考え方」において、令和 8 年度末を目途とした現施設の利用終了後、市民プラザがこれまで果たしてきた役割・機能や、近隣公共施設や地域の状況などを考慮しながら、時代状況に即した社会課題に柔軟に対応する新たな施設整備を進めることとしており、また、新たな施設が半世紀以上にわたり利活用される施設となることを見据え、合理化・最適化を意識し、適正規模・機能の施設整備に向けた検討を進めることとしております。今後は、市民意見聴取や、施設整備に必要な基礎調査等を実施し、施設整備に向けた検討を進めてまいります。</p> <p>なお、「てくのホール」は本取組方針の対象となっていませんが、「モデル 4 地域における資産保有の最適化に向けた取組方針」において、生活文化会館は、「男女共同参画センターとの複合化等を含めた様々な手法により最適化に向けた取組を進める」としてありますので、連携を図りながら具体的な検討を進めてまいります。</p>	D
38	<p>高津区の公共 3 ホール（ふるさと劇場・すくらむ 21・てくのかわさき）の統廃合による「最適化」方針に対し、それとは反対に各ホールの規模を拡張し、機能面でも充実した施設への拡充を要望します。ホールや練習会場が圧倒的に少なく、大中小のホールや練習会場の拡充こそ「最適化」方針の核心です。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p>	D

39	<p>「てくのかわさき」については、老朽化で建て替えることになっても、再び同じ場所で利用できるようにしていただきたいと思います。</p> <p>「すくらむ 21」についても、色々な活動で使用していますので、この二つの建物を統合して一つにすることはしないように、ぜひお願いします。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>なお、「てくのホール」は本取組方針の対象となっておりませんが、「モデル 4 地域における資産保有の最適化に向けた取組方針」において、生活文化会館は、「男女共同参画センターとの複合化等を含めた様々な手法により最適化に向けた取組を進める」としておりますので、連携を図りながら具体の検討を進めてまいります。</p>	D
40	<p>男女共同参画センターについて</p> <p>取組の方向性として「男女共同参画社会の形成に寄与する」という本施設の設置目的を勘案しながら公共ホールの最適化に向けた検討を進めることには賛成します。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p>	B
41	<p>男女共同参画センターについて</p> <p>周辺施設との複合化等を含めた手法による最適化を検討する施設になっていることに対しては、あくまでホールを含めたすくらむ 21 の建物を現在の場所で運営して頂きたい。「男女共同参画社会の形成に寄与する」という設置目的は単独館でのみ実現できるものと考えています。</p>		D
42	<p>男女共同参画センター（すくらむ 21）と生活文化会館（てくのかわさき）について、生活文化会館のことで話が出ているようですが、創設の由来が余りに違いすぎです。集約しないでください。各々、市民の多彩な活動の拠点になっていて、独自の特色を発揮した用途になっている。</p>		D
43	<p>すくらむ 21 のホールは本番と同じ環境で練習に利用できる貴重な場であるため、環境を維持していただきたいと思います。</p>		D

44	<p>男女共同参画センター（すくらむ 2 1）のホールの存続を求めます。</p> <p>ホールの稼働率は 86.0%と利用率は高いと思います。本番稼働率が 34.0%が低いと評価しているような感じがありますが、練習利用が 5 2 %もあり、市民ニーズは高いということです。</p> <p>広い駐車場、舞台設営のためのトラックがゆったり入るレイアウトは、利用者にとって貴重です。駐車場はすくらむ祭りの会場にもなり、すくらむと地域の繋がりを深める貴重な交流の場になっています。</p> <p>また、災害時には避難所や物資救援の場にも使えます。混雑している溝の口駅から少し離れていることがメリットになる貴重な空間です。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、練習利用などホール以外の場所でも実施可能なニーズへの対応は、公共ホールの最適化を進める上で、必要な取組の一つであると考えており、練習利用可能な場所の適正配置や練習需要の移転などについても、今後、検討してまいります。</p>	D
45	<p>市民プラザの日本庭園は、早急なレッドゾーン指定対策が必要なので、工事に着手するべき。庭園内にある陶芸棟や有名な茶室も改修して存続させるべきである。また、この樹林も多い広大な緑地帯の庭園を、市民プラザ本棟の建替え用地に転用することなどは断じて避けるべきである。</p> <p>（同趣旨他 117 件）</p>	<p>市民プラザにつきましては、令和 7 年 11 月に公表いたしました「市民プラザ現施設の利用終了に伴う新たな施設整備についての基本的な考え方」において、令和 8 年度末を目途とした現施設の利用終了後、市民プラザがこれまで果たしてきた役割・機能や、近隣公共施設や地域の状況などを考慮しながら、時代状況に即した社会課題に柔軟に対応する新たな施設整備を進めることとしており、また、新たな施設が半世紀以上にわたり利活用される施設となることを見据え、合理化・最適化を意識し、適正規模・機能の施設整備に向けた検討を進めることとしております。</p> <p>今後は、市民意見聴取や、施設整備に必要な基礎調査等を実施し、施設整備に向けた検討を進めるとともに、敷地内に土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）が含まれることから、基礎調査等の結果を踏まえ、敷地全体の考え方の検討を進めてまいります。</p>	D

46	<p>市民プラザは、ごみ焼却場を建設するとき近隣住民の協力を得るため、市民プラザの併設を約束したもので、市はこの約束を守るのは当然です。溝口から離れた地域の方々の集まる場所として、災害時の避難場としても、近隣住民の要望をしっかりと聞いてください。</p>	<p>市民プラザにつきましては、令和 7 年 11 月に公表いたしました「市民プラザ現施設の利用終了に伴う新たな施設整備についての基本的な考え方」において、令和 8 年度末を目途とした現施設の利用終了後、市民プラザがこれまで果たしてきた役割・機能や、近隣公共施設や地域の状況などを考慮しながら、時代状況に即した社会課題に柔軟に対応する新たな施設整備を進めることとしており、また、新たな施設が半世紀以上にわたり利活用される施設となることを見据え、合理化・最適化を意識し、適正規模・機能の施設整備に向けた検討を進めることとしております。</p> <p>今後は、市民意見聴取や、施設整備に必要な基礎調査等を実施し、施設整備に向けた検討を進めてまいります。</p>	D
47	<p>自治体で能楽堂を保有し活用しているのは貴重である。無くさないでいただきたい。施設利用料も高くなく、発表会などにもよく使われているが、認知度が低いのが課題だと考える。能楽堂の認知度向上に向けた取組が重要である。川崎市文化財団の主催で、能楽堂を様々な催しで使用していくと良いと考える。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p>	C
48	<p>能楽堂について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料も高くなく、発表会などにもよく使われているが、認知度が低いのが課題だと考える。認知度向上に向けた取組が重要である。 ・川崎市文化財団の主催で、様々な催しで使用していくと良いと考える。 	<p>いただいた御意見を参考に、施設の認知度向上に向けた検討も行なってまいります。</p>	C

49	能の世界は、観る人の想像力を必要とし、想像力を養う事が子供たちにとって、今とても重要だと思っています。日本の伝統文化を受け継ぐ場として、川崎能楽堂の存続を強く希望いたします。	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p>	D
50	川崎能楽堂が存続し、伝統芸能の保存拠点として、また子どもたちへの文化継承の拠点として更なる活用をされることを望みます。		D
51	川崎能楽堂は首都圏でも数少ない能舞台を備えた公共施設であり、文化交流や教育的活用の面でも役割を果たしているものと考えます。川崎能楽堂が、今後も市民および広域の利用者に開かれた文化施設として維持され、伝統文化の継承と発展に寄与する場として、能舞台の継続的な利用環境が確保されるよう望みます。		D
52	川崎市が維持していられした日本の伝統文化を、多角的な小規模な分野の活動発表の場として存続していただくことを切に願っております。		D
53	能楽堂とは能楽を演ずる専門の作りであり、大切に保存しなければならないのではと強く思います。川崎能楽堂の良い所は他の能楽堂に比べて全体的に小ぶりで、見所側が高くなっているので舞台を下に観れるという点です。また、使い方によっては和洋問わず、あらゆる音楽に関する催しに使用できる、趣のある空間だと思います。		D
54	他の能楽堂はいずれも設備は本格的だが利用料金が高額であるのに対して、川崎能楽堂は、低廉で、学生をはじめとするアマチュアの発表会に向いていると言える。『本格的な能舞台を借りることは経済的に難しいが、それでも三間四方の舞台＋橋掛り＋見所が揃っている環境で発表したい』というアマチュアの需要を首都圏でほぼ唯一満たすのが川崎能楽堂だと考える。川崎能楽堂が学生・アマチュアを含む多様な担い手の学びと発表を支え、能狂言の裾野を広げる公共性の高い拠点として、将来にわたって活用されることを強く希望します。		D

55	<p>川崎能楽堂について 能楽堂は多目的ホールの一部機能としてではなく、単独で存続させる方がトータルで川崎市の利益になると考えます。</p> <p>能楽堂を所有している自治体は多くはありません。一度失われてしまった文化の復活は現実的に無理でしょう。目先の利益も大事ですが、利益優先ではなく文化を守るのも自治体の役割です。</p>		D
56	<p>一般的ホールでの仮設舞台では鑑賞意欲や参加モチベーションが喚起されにくく、また、プロによる本格的演能は困難であり、本物の能に触れる機会が減少することが懸念される。</p> <p>能楽堂は自治体としてブランド価値の向上に資している点もあろうかと思います。日本の伝統芸能を守り、次世代に紡いでいくためにも日本古来の「能楽堂」を形として存続していただくことを強く願うところです。</p>		D
57	<p>能楽堂は造りがまったく違う専門性の高い舞台であるので、他の施設と同じ基準で考えることは違うのではないかなと思います。</p> <p>コストのことも大切だと思いますが、行政が伝統芸能を守っていくことの意味、他に替えが効かない施設であること、将来の子どもたちのために今一度検討して、能楽堂を残していただきたいと思います。</p>		D
58	<p>川崎能楽堂について、市民館等で仮設の舞台を使うのは、毎回、台座を組み立てるなどの手間が多くなる上に、能楽堂のような環境を作り上げることはできない。</p>		D
59	<p>川崎能楽堂は、駅から近く、交通至便で、一都三県にまたがる多くの会員（現在30名程度）が発表会に利用しています。会員の発表会の場として、川崎能楽堂は貴重な存在であり、今後共、発表の機会を提供して頂くことを切望します</p>		D

60	首都圏に位置する能楽堂のネットワークの中で、川崎能楽堂は一つの重要な拠点であり、存続していただきたい		D
61	機能集約（他施設での代替）について 一般的な多目的ホールは、舞台形状・余白・観客の視線の位置が能舞台と異なり、能狂言の芸能特性を十分に発揮できません。また、一般的なホールでは他の舞台芸術と競合して日程的に押さえにくくなったり、利用料が高くなったりするおそれがある。また「能舞台で発表する」という魅力を実現できなくなる。それは困ります。		D
62	川崎能楽堂は、利用料金が安価かつ駅から近いため利用しやすい施設です。稼働率が低いようですが、存続していただくようお願いします。		D
63	川崎能楽堂のおかげで、毎月お稽古で能舞台に立ち、日本の伝統芸能をととも身近に感じております。これからもお稽古ができるように、川崎能楽堂を存続させてください。		D
64	稼働率の問題について、建て替えて他の施設と一緒にするという方法はあるかと思います。渋谷のセルリアンタワー能楽堂は、ホテルの地下に立派な能楽堂があり、海外からのインバウンドの方々にも日本の伝統文化を発信する場となっています。無くすのではなく、存続させるためにどうしたら良いかの議論をお願いいたします。		D
65	川崎能楽堂は、能楽に触れることができる非常に貴重な施設であり、年代問わず利用されており、わざわざ都内から川崎市に能楽堂のために通っている人も多く、なくてはならない施設です。能や狂言をもっと普及させるために利用いただくのが良いと思います。		D
66	能楽堂は専門性の高いホールなので、川崎市の公共施設としての枠組みだけでなく、「能楽堂」という枠組みで、他の能楽堂との共存という側面からもご検討いただきたいです。実際に川崎能楽堂を使っている団体の意見を聞いていただきたいと考える。		D

67	能楽堂に関してはどの自治体でも持てるというわけではないというのが現実であり、文化芸術に寄与するのだという気概や誇りを持って、能楽堂と向き合ってほしいです。他ホールと同等の考えで生活圏を捉える必要はないと考えます。思い切った改修や建て替えによりハード面を整えることで、川崎市を活気づけて能楽界を盛り上げる、川崎市自慢の公共ホールに川崎能楽堂がなり得ると考えます。		D
68	600年の伝統を背負って立つ能楽師からお能や楽器を教わる幼児体験を、公共の支援でできる川崎の子たちは恵まれています。この恵みを打ち切らず、豊かに子ども達が育っていける土壌を与え続けて欲しいと願います。		D
69	川崎能楽堂は舞台と客席が近く観やすいです。夏休みの能楽体験は小さい子から幅広い年齢の方が参加しており、能楽に触れることができる貴重な機会です。また、こども能楽教室は、こどもが舞のみならず、謡も行うという点が素晴らしく、川崎市が子ども達に対する文化活動に力を入れていることが感じられました。		D
70	能は守るべき資産というのが国の方針として明確にあることに対して、どの様に継承するべきかを検討する事が地方自治体としての責任であるはず。まずは文化的な視点を踏まえて、行政として素晴らしい能楽堂の整備をすべき。		D
71	川崎能楽堂について、将来的に銀座の能楽堂のようにビルとなるのは分かりますが、川崎市が能狂言を文化として理解できるのであれば、橋がかりのある形を残すべきだと思います。特殊な形を排除するのは、多様性をうたう川崎市のイメージと合いません		D
72	今の全ての形を残すことが難しいかもしれませんが、例えば集合住宅の下に能楽ホールを作るなど何らかの形で残して欲しいと願っております。幅広く長期的な視点で文化施設の建設や維持をお願いしたいです。		D
73	川崎能楽堂にて楽しくおい古に通わせていただいております。 昔に比べると治安も大分良くなり、買物などもしやすくなっていると思う次第です。		D

74	<p>川崎能楽堂の使用制限などがあるのであれば緩和を検討するなど、可能な限り、現在の施設を大切に使用しながら、利用率を高めていこう、お願いします。</p> <p>(同趣旨他2件)</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて</p>	D
75	<p>能を習う人が少なくなってきたおり、様々な施設や事業も減少傾向にある中で、川崎能楽堂は重要な位置付けにある。落語会やCM撮影などを誘致するなど、多様な使われ方を目指した方がいい。川崎市定期能はここまでよく続けていると思う。チラシのデザインも良い。このまま、川崎能楽堂で継続していただきたい。</p>	<p>検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p> <p>最適化に向けた取組と並行し、利用合理性や経済合理性の向上に向け、既存施設の活用方法についても検討してまいります。</p>	D
76	<p>能楽堂の活用方法ですが、小規模のコンサートホール及び、防音を要する物の練習場とするのはいかがでしょうか。ホールとしての川崎能楽堂の良さは、川崎駅から近い事、建物として独立しているので防音効果が高いであろう事、どこの席からでも舞台が見えやすいことです。</p> <p>能楽堂を能狂言以外で使用する際の最大の問題は、ヒールや椅子の足など硬いもの、重いもので舞台の板が傷つくと本来の用途である能で使えなくなり、板の張り替えなどが必要になる事です。</p> <p>舞台板の問題が解決すれば、川崎能楽堂はこじんまりした落ち着いた建物であり、駅からのアクセスもよく、防音も期待できるよい空間になり得ると思います。用途としては、楽器演奏、講演会、防音を必要とする練習場、また子ども向けの催し会場などがあげられます。</p> <p>能楽堂の活用及び存続の手立てとしてご一考下さると幸いです。</p>		D
77	<p>能楽堂はそもそも能以外での利用がしづらいため稼働率が低いのは当然である。今後は、川崎市定期能の回数増、さらなる一般開放の拡大、能楽以外の利用促進等に取り組み、川崎能楽堂は持続的に利用可能となるようにしていただきたい。</p>		D

78	市町村で能楽堂を運営しているというのはとても誇るべき文化活動の水準だと思います。能狂言以外でも、使えるイベントには使ったらいと思います。		D
79	川崎能楽堂について、能楽以外の分野でも利用してもらった方が良いが、舞台を傷つけないようにするなど配慮は必要だと考える。他の分野に貸すのであれば利用料も高くした方が良いのではないだろうか。発表会の利用にちょうど良い場であるので、そのことを PR した方が良いと考える。		D
80	川崎能楽堂は舞台と見所がとても近く、能や狂言がとても身近な人間世界を描いていることを実感できる数少ない能舞台と思っておりました。しかも川崎駅から徒歩で 10 分弱という利便性もあり、川崎市の宝なのでは、と思います。 私が思っておりますのは、こちらの能楽堂が、能・狂言以外でも使われることです。他の伝統芸能（落語・講談・琴・三味線、太鼓 etc.）のプロは勿論のこと素人の発表会等で使えませんか。 また、音楽（クラシック弦楽器の演奏・マリンバ・ハンドベル etc.）お芝居（小劇場的な）和でも洋でもファッションショーなどです。		D
81	川崎能楽堂について、稼働率が低いことの原因を分析し対策を立てることが優先事項であると考えます。例えば、現在の能楽堂は空間が広くありませんが、演者が近くで見ることができるメリットもあり、すべての席を S 席の価格設定にしても受け入れられるでしょう。それができないのは、座席が窮屈過ぎるためであり、今回の改修工事のタイミングは余裕のある座席に変更するチャンスです。座席数が減ることについては間取りを工夫することで十分対応できるでしょう。また、2 階席の開放も検討してみたいかがでしょうか。他の能楽堂と差別化すれば、駅近の立地はニーズがあり、平日の夜公演も十分集客できるでしょう。		D

82	<p>・他の能楽堂でも能楽以外の利用が増加しつつある。落語での利用など、利用拡大に向けた取組が大切だと考える。</p> <p>・文化財団主催の能や狂言の公演において、様々な企画を行い、能楽師を刺激し、若い能楽師を育てるような取組を行うことで、能楽全体の底上げや川崎能楽堂の活性化につながると思う。</p>		D
83	<p>能楽堂の利用を上げるのであれば、市民館等で能・狂言の体験を増やすような講座をおこなって、本番の能楽堂を使った稽古や舞台を実施できるような利用者を増やすべきではないかと思われます。</p>		D
84	<p>他の能楽堂も川崎能楽堂と同様に土日がメインで公演を開催しており、「本番稼働率」が低いのは当然である。公益社団法人 能楽協会に川崎能楽堂の現状を説明し、助言をもらうとともに、五流（観世、宝生、金春、金剛、喜多）の能楽師の理解と協力を得て、利用促進につなげていくことを検討していただきたい。</p>		D
85	<p>川崎能楽堂について、少し気軽に足を運んでいただけるようなイベントをさせてみてはいかがでしょうか。また、川崎駅は多くの利用者がいるので、掲示板を分かりやすい場所に設置するなど、川崎駅での宣伝効果は比較的に大きいのではないかと思います。川崎能楽堂を学校の授業の中で紹介する機会をつくるのも、子どもたちが興味を持つきっかけになると思います。</p>		D
86	<p>川崎能楽堂は川崎駅からのアクセス情報がほとんどないため、サイン計画を充実してほしい。それが利用促進につながると思う。</p> <p>さらに教育委員会と連携して、川崎能楽堂での授業を充実したり、地域で能を拡げる活動やオンライン講座などの取組をすることで、次世代の能楽師を育てることに繋がる。こうした取組によって、川崎能楽堂を活性化していきたい。</p> <p>ナイトタイムエコノミーの視点からの活用、能楽堂の利用が入っていない時に、装束や面、写真の展示、映像を流すなどの企画をしてみるなど、多面的な活用をすべきである。</p>		D
87	<p>学校教育との連携を深め、能楽に関する授業を市内の各小学校で行うなど、子どもたちへの理解を深めるための取組が、川崎能楽堂の更なる活用につながると思う。</p>		D

88	川崎能楽堂については、リニューアルで快適な施設機能拡充して、能楽使用以外の時は、他の文化も誘致する方向に出来ませんか？それなら箏（こと）でも使いたいと思います。		D
89	川崎能楽堂について、駅からのアクセスも良いのに夜間貸出が無いのが不思議です。もう少し映像系に PR すると利用者が増えると思います。		D
90	能楽関係の公演チラシは、能楽堂以外でほとんど見ることがない。市外の公共ホールや美術館等にもチラシを置くと良いと思います。それから、浮世絵ギャラリーとのコラボ企画があったらいいと思います。「能楽と浮世絵」という企画展示やそれに関連する曲の上演があったら、とても面白いだろうと思います。		D
91	玄人の上演頻度が低いようですが、むしろ素人の稽古、発表の場という特徴を打ち出すと利用も伸びるのではないのでしょうか。リーズナブルな料金で平日夜間や部分的な借用を可能とすることも考えられます。仮に、他のホールに合併する場合も、舞台や橋掛りを維持し、楽屋スペースをしっかりと確保していただくと稼働率が良くなると思います。		D
92	現在、東京都内では国立劇場を初めとして、伝統芸能を演じられる舞台が建築費の高騰などさまざまな理由で興行ができない状況にあります。こういう時期であるがこそ、川崎能楽堂を首都圏の能楽を含む伝統芸能の上演場所として組織的に活用することはできないのでしょうか？		D

(3) 利用状況等の分析・評価に関すること

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
93	<p>「需要移転」について、各利用希望者のニーズは、例えば日程については休日であればいつでも良いということには決してならないはずですし、需要の高い日程と低い日程は、各施設でかなりの程度重なっていると考えるのが自然でしょう。</p> <p>休日、平日のくくりで計算上の需要移転が可能だから廃止できるというのは、かなり乱暴な議論と言わざるを得ないと思われます。希望日、あるいは利用可能日の抽選に外れて利用できていない需要がカウントされておらず、需要を過小に評価している可能性が高いと考えられます。素直に利用申込の競争率をベースに考察した方がはるかに需要の実態に近づけるのではないのでしょうか。</p> <p>稼働率が低いから供給を絞るというのでは、そもそもの政策目的を放棄することにもなりかねません。公共ホールには冗長性のような考え方があっていいのではないのでしょうか。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>いただいた御意見を参考に、利用状況の実態把握の方法について検討してまいります。</p>	C
94	<p>実際の来場者数を正確に分析し、どのカテゴリの団体で、どの程度の規模のホールが必要だったのか、また抽選に申し込んだ団体のホール利用実績を分析し、抽選に外れてしまった団体の状況も踏まえて、どの程度がホール利用出来ずに諦めているのか等についても再度分析いただければと思います。そして、その結果を最適化に反映していただければ有り難いです。</p>		C

95	<p>・今回の検討ベースとなる稼働率のデータはコロナ禍前の平成 28 年（2016 年）から平成 30 年（2018 年）までの平均値である</p> <p>・しかしながら、ここ数年、肌感覚として川崎能楽堂の予約が取りにくい状況にある、特に土日はほぼ埋まっている状況と推察される</p> <p>・よって、できたらデータの説得性を上げる意味で川崎能楽堂の直近の稼働状況も調査いただければ有難い</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p>	B
96	<p>今後の検討においては、能楽堂という専門施設の特性を踏まえた評価指標の再設定。午前公演や 1 日複数公演を前提としない、営業日単位での稼働率を主要指標とした再評価、他都市公立能楽堂との比較に基づく客観的検証を行った上で、川崎能楽堂の存続・活用方針を検討することを強く求めます。</p>		D
97	<p>川崎能楽堂については、単純に稼働率、合理性といった指標では測れず、能楽の伝統の継承や、後世に引き継いでいくために何ができるのかという視点を持つことも必要だと感じております。</p>	<p>令和 5 年度に策定した「公共ホールのあり方」において、19ホールに対する検討可能な役割分担パターンが膨大な数となるため、利用合理性・経済合理性を指標とし、最適化に向けた検討の軸となる課題施設を抽出することとしております。</p>	D
98	<p>川崎能楽堂は能専門の施設のため、他の用途で使用出来ない。他の様々な用途が可能で多目的ホールと並べて、まとめて同一指標で評価する事自体、資産保有の最適化検討としてはあまりに不適切である。他の県の能楽堂の利用頻度等と比較、分析するべきである。</p>	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p>	D
99	<p>・川崎能楽堂について、日本文化を学ぶ重要性を図るのに稼働率、経済合理性という短期的な 2 軸で評価するのは適切なのでしょうか？埋めきれないところを支援することこそ、行政が支援すべき領域と考えます。</p>		D
100	<p>能・狂言という伝統芸能の性質上、汎用的な舞台と同じように、午前区分等を稼働率の主要指標とする評価方法は、ふさわしくありません。川崎能楽堂は、他都市の能楽堂に比べると全国的にも高い利用率を維持しており、他用途のホールと同一の指標で判断するのは合理的ではありません。</p>		D

101	<p>川崎能楽堂について、利用率を上げる課題があるのであれば、他の用途との合わせ技ではなく、別のアプローチを考えることに力を注ぐべきです。川崎能楽堂の価値や意義を改めて評価し、捉えなおす必要があるのではないのでしょうか。</p>		D
102	<p>施設が統廃合されたら、今でも施設の予約が取れないことが多く、使用料が高くて困っているのに、ますます心配です。</p> <p>高齢化が進む中で、認知症予防と健康寿命の維持管理のため、多くの自治体は高齢者が集まる施設の建設を進めています。財政的に豊かな川崎市が施設の費用対効果だけで、施設の統廃合を検討するのは方向違いと考えます。</p> <p>課題施設として能楽堂が上がっていますが、元々利用者が少ないことは想定済みと考えます</p>		D
103	<p>本市における公共ホールは「多くの施設で多目的な利用が進んでいる」のを前提にしているようですが、能楽堂は「伝統芸能」という特定の利用ですので、同列に比較はできないのではないのでしょうか。</p>		D
104	<p>川崎能楽堂の利用者の一人として、また子どもを同施設の子供能教室に通わせている保護者として、公共ホールの最適化に向けた取り組みの方向性について、強い懸念を抱いています。公共施設の存廃を、短期的な経済合理性や利用率のみで判断していくとすれば、最終的に「最も効率の良い娯楽施設」だけが残ることになります。能楽堂のような専門性の高い文化施設については、短期的な効率性ではなく、都市が将来に何を残すのかという視点から、個別かつ慎重な検討がなされるべきです。</p>		D

105	「最適化」方針には「経済合理性」「稼働率」などの視点から分析した方向性が示されていますが、さまざまな文化活動を後押しし、発展させる「公共施設」を充実させる視点が見受けられません。	令和５年度に策定した「公共ホールのあり方」において、１９ホールに対する検討可能な役割分担パターンが膨大な数となるため、利用合理性・経済合理性を指標とし、最適化に向けた検討の軸となる課題施設を抽出することとしております。 公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。	D
106	本市の公共ホールについては、今までの活用方法だけでなく、他の一面での利用の任務も考えられます。間近に迫っている地震等の防災時にも、大事な住民の避難する場所としても活用することができます。 経済面や利活用率だけで方向性を決定しないで下さい。 存続するために利用者側の負担が少し多くなっても理解は得られると思います。		D
107	今回の課題施設についてはコスト面、エリアのなかのバランスなど、「合理性」に重点を置いた検討になってますが、公立文化施設に求められる意義を担保すると共に、数字で測れない定性的評価を大切にしてほしいと思います。この先、減っていく児童・青少年と文化芸術を結びつける環境をどのように確保するのかを長期的視野を大切に考えてほしい。鑑賞事業の充実、若手の人材育成、こどもの居場所、部活動の地域移行など、文化の受け皿を失うことにならないことを願います。		D
108	小規模・専門特化型施設は、単純な稼働率だけでなく、文化振興への寄与度も考慮されるべきだと思います。		D
109	私は、観劇とお稽古で川崎駅を利用する以前は、川崎にはほとんど訪れることはありませんでした。しかし、観劇やお稽古の際に食事をし、買い物をし、川崎という街に親しみを持ち、足が運びやすくなりました。提示された統計調査は一部の面を表しているに過ぎず、単体でホールのコストだけを見ていては見逃している利点もあります。多面的にホールの価値を捉えていただきたいです。		D

110	本番稼働率だけでなく、練習利用も含めた稼働率を指標とするべきではないか。		D
111	利用合理性を、本番の稼働率を指標としていることの意味については、疑問を感じました。		D
112	川崎市アートセンターは課題施設間近とありますが、公立では非常に珍しい映画館、濃密な劇空間が作れる小劇場があります。また、ミューザ川崎シンフォニーホールも世界的オーケストラを招聘できる市内唯一の音楽ホールです。このような定性的価値の高い施設もほかの市民館と横並びで評価していることには驚きました。このような施設を公立でもってることは川崎市の誇りだと思います。「音楽のまち、映像のまち、芸術によるまちづくり」をうたう政令指定都市・川崎市が、公立文化施設の本質的な価値を深く理解し、本当の文化都市として成熟していくことを願います。		D
113	課題施設の抽出について、以前の説明では、経済合理性と利用合理性だけでは考えないと聞いていましたが、この２点で考えていくということなのでしょうか？ また、「理論上、需要移転可能な最大施設数」を割り出すという意味ですが、割り出す場合でもほかの諸条件を考慮してそれで単純に判断しないという理解でいいでしょうか？	<p>令和５年度に策定した「公共ホールのあり方」において、１９ホールに対する検討可能な役割分担パターンが膨大な数となるため、利用合理性・経済合理性を指標とし、最適化に向けた検討の軸となる課題施設を抽出することとしております。</p> <p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>需要移転の具体の検討に当たっては、本取組方針でお示しした需要移転に係る検証条件だけでなく、利用団体等の意向や需要移転先の状況なども様々な条件を整理・確認しながら、取組を進めてまいります。</p>	D

114	<p>川崎能楽堂は何にでも使用できる施設ではないため、稼働率が低いのは当然であり、本取組方針で示されている数値は、文化芸術の持つ真の価値を測るものではありません。また、ホールの座席の本番利用の使用率を問題としていますが、川崎市国際交流センターのホールは、座席を収納してフラットで利用できる貴重なホールです。多くのグループがフラット利用をしているために、座席の利用率の比較自体、妥当ではないと思います。</p>	<p>令和５年度に策定した「公共ホールのあり方」において、１９ホールに対する検討可能な役割分担パターンが膨大な数となるため、利用合理性・経済合理性を指標とし、最適化に向けた検討の軸となる課題施設を抽出することとしております。</p> <p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p> <p>なお、本番利用時の客席利用率については、１９施設中１１施設において、定員数の５割以下の利用が、全本番利用コマ数のうち半数以上となっており、機能・規模とニーズのミスマッチが生じているという状況を表すデータとしてお示ししたもので、他施設との比較には用いておりません。</p>	D
115	<p>川崎能楽堂のホール稼働率について、夜間利用ができないため、他のホールに比べると必然的に稼働率がさがるのではないかと？</p> <p>算出方法は各ホールを平均化しているか？</p> <p>利用方法について、能のみとの記載だったが、能以外でも長唄や日舞などの利用実績はないのか？</p>	<p>ホール稼働率は、利用コマ数を利用可能コマ数で除した値を用いており、利用できない時間帯はコマ数に含んでおりません。また、算出方法は、平成２８年度から平成３０年度までの３年間の平均値を採用しております。</p> <p>川崎能楽堂における利用実績には能以外の用途もすべて含んで算定しております。なお、利用時間は午前９時から午後９時までとなっており、夜間についても利用は可能となっております。</p>	D
116	<p>練習場所としては稼働率が高いが本番稼働率が少ないというのは、それだけ練習できる場所がないので、あちこちの施設を利用しているということではないのでしょうか。もしそうであれば、本番稼働率で評価するのはおかしいと思います。</p>	<p>令和５年度に策定した「公共ホールのあり方」において、客席を利用しない練習利用については、必ずしもホールを利用する必要がないと考えられるため、ホールがより効果的に使われているかという利用合理性を図る指標として本番稼働率を設定しております。</p>	D

(4) 既存施設の機能改善に関すること

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
117	川崎能楽堂には屋根がなく、音の響きが悪い。また、客席が少なく、二階席の増設も期待したい。	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、各施設の運用面・機能面の改善については、引き続き、利用団体等の御意見を丁寧に伺いながら検討してまいります。</p> <p>なお、川崎能楽堂は、能を行うための専門性の高いホールであり、文化的側面も踏まえながら上記検討・整理を進めてまいります。</p>	D
118	<p>能楽堂について</p> <p>大前提として、ハード面の改良が必須です。まずは見る人を増やすため、座席数を増やすこと。そして、能舞台として屋根をつけるなどきちんとした形を整えることで、観客にとっても出演者にとっても、質を確保する。さらに、鏡の間と楽屋を充実させることで出演者に気持ちよくやっていただく。さらに、ロビーとトイレを充実させることで、快適な劇場として足を運びやすくなります。</p>		D
119	<p>脚の具合が良くないのですが、2階の楽屋行き来に階段しか無いのが辛いです。階差の有る施設には、エレベーター設置をお願いします。</p> <p>男性トイレが外から中が見えてしまうのは如何なものかと思います。</p>		D
120	快適化、資産価値向上、市民の断熱への理解促進のため、建物の断熱化を強く要望します。また再生可能エネルギーの設置、導入も求めます。		D
121	一部の市民館などはステージまでのバリアフリー対応が十分ではなく、不便な状況である。出演者の中には車いす利用者も含まれることがあり、改善が望ましい。	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に伺いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>また、各施設の運用面・機能面の改善については、引き続き、利用団体等の御意見も丁寧に伺いながら検討してまいります。</p>	D

(5) 取組方針の記載に関すること

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
122	こういった意見収集の場で「川崎市アートセンター」とだけ出すから認知度があまりにもない施設に映ってしまうのであって、「アルテリオ」とどこかに入れていただければもう少し認知度が上がったような気がします。そういう意見の取り方をするのであればカルッツやすくらむ 21 もその名を出さずに意見収集をしてください。不公平です。	施設名称について記載方法を統一します。	A
123	今回の資料について、ポイント列挙の部分は文脈を読みづらかったです。文章で説明すべきところは丁寧に説明してほしいです。補足資料も含めて分量が多いのは、丁寧な資料作りと思います。ありがとうございます。	今後、資料作成する上での参考とさせていただきます。	D
124	取組の方向性については、各施設の収支状況や利用状況を毎年開示することを表記する必要があるものと考えます。また合わせて、収支状況や利用状況の改善策を示せることを表記する必要があるものと考えます。	<p>各施設に係る収支状況等の開示につきましては、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎能楽堂 管理運営を行っている公益財団法人 川崎市文化財団のホームページにおいて、決算書や事業報告書が掲載されております。 ・国際交流センター、市民プラザ、男女共同参画センター 指定管理者制度活用事業評価シートを、市 HP に掲載しております。 ・幸市民館 令和 8 年度から令和 10 年度までの間、休館を伴う施設全体の改修工事を進め、令和 10 年度から、指定管理者制度の導入を予定しております。導入後においては、毎年、市ホームページに指定管理者制度活用事業評価シートを掲載することで収支状況等を示してまいります。 <p>なお、文化財団の決算書や指定管理施設の「指定管理者制度活用事業評価シート」においては、市発注の改修工事費等の支出の記載がないため、「川崎市公共施設白書」（市ホームページで年度ごとに公表）上のコスト情報と合わせて確認する必要があります。</p>	E

(6) その他

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
125	料金改定について、急激な値上げは住民・学生の自主利用を阻害します。都内能楽堂と比べた相対的な手頃さが川崎能楽堂の利用動機であるため、段階的な改定・減免措置・利用目的に応じた料金設計をご検討ください。	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>なお、提供が必要なサービス内容の検討において、利用料金について検討してまいります。</p>	D
126	練習だけの大ホール使用の費用を安くして リーズナブルな会場費の練習室を確保したくても、抽選に外れた場合、練習だけのために大ホールを使用するのは、各団にとっても会場費の負担が増えます。		D
127	公演以外の空ホールの利用方法や料金の設定を適切に 夜間の大ホールが空いているのに、会場費が高すぎます。本番ならば仕方ないですが、練習用にもっと安く使いやすくしてください。 練習ですので音響も照明もいらなし、ホール職員も特別な用事はないです。使いたい人はたくさんいると思います。日中でも、本番とは別に照明・音響もいらなし、観客もいない、練習会場として使う道も考えてください。		D
128	ふれあいネットでの予約ができない施設もあり、集約化や役割分担した場合、調整事務がシステム上でできない場合の負担が生じることが懸念されます。	<p>公共ホールの最適化に当たっては、本取組方針を踏まえ、引き続き、市民意見などを丁寧に向いながら、今後、利用状況の実態把握や施設が果たしてきた役割、立地特性、提供が必要なサービス内容・機能・施設規模、将来修繕コストなどの整理を行い、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討し、最適化の可能性について整理した上で、取組を進めてまいります。</p> <p>いただいた御意見を参考に、最適化後の予約方法や利用調整の方法についても、検討して参ります。</p>	C
129	施設の課題以前に、市民の利便性の向上としてバスや安価なタクシー、駐車場の充実など通いやすい外側の条件の努力しているのでしょうか。		D

130	<p>大ホール会場の抽選方法も問題だけです</p> <p>下記ホールは毎月の抽選日が同じ毎月 1 日のため、どれか 1 か所しか選べなくて直接、抽選会場に参加できません。「抽選会参加カード」が各団体に 1 枚しか保有させてもらえないためです。複数会場への参加ができないのです。</p> <p>高津市民館、すくらむ 21、麻生市民館、多摩市民館、宮前文化ホール、幸市民館、中原市民館、エポック中原など。</p>	<p>各施設の運用面の改善については、引き続き、利用団体等の御意見も丁寧に伺いながら検討してまいります。</p>	E
131	<p>予約方法が施設ごとに異なるのは困る。</p>		E
132	<p>公立文化施設の職員の質の向上はどうでしょうか？自分たちの働く文化施設の価値を認識し、専門性を持った職員を配置して、市民のニーズに応え、施設の質を上げ続けてほしい。</p>		E
133	<p>川崎市は複数の会場が閉鎖、あるいは改修工事として 2026 年度後半から使用できなくなると市から説明があった。設備の老朽化対策を取るならば、代替施設を準備するのが行政の在り方ではないでしょうか。早急に代替施設の提案、もしくは同時期での改修を改め、市民への文化的貢献をお願いするところです。</p>	<p>ホールは代替となる施設が限られていることから、利用者への影響を勘案し、長期間の休館を伴う改修工事の時期について可能な限り調整を行っておりますが、施設の運営上・安全上必要な改修については、やむを得ず同時期に工事を行う場合がございます。利用者の方への事前のお知らせを行うなどの対応を行っているところでございます。</p> <p>なお、公共ホールの最適化に当たっては、需要移転や機能の適正配置パターン、効果・コスト・スケジュールなどについて検討することとしており、当該検討の中で、最適化に係る工事期間中の代替場所の必要性などについても検討を行ってまいります。</p>	E
134	<p>今後想定される改修内容には舞台設備関係が多いのですが「バリアフリー化」への対応はどういったものが知りたいです。（トイレ洋式化はありますが）</p> <p>多くの人が関わりやすい、アクセシビリティを強化した施設が必要になってくるのではないかと思います。</p>	<p>施設によって状況は異なりますが、エレベータやトイレ、案内サインなどのほか、車椅子利用者用の客席や舞台に上がるための経路などについてバリアフリー対応が求められていると考えております。公共ホールの最適化に当たっては、バリアフリーやアクセシビリティなども考慮し、具体の検討を進めてまいります。</p>	D
135	<p>学校施設利用が今年度より広く制度化されましたが、使用可の時間枠として夜間が多く、昼間の需要が多いという現実に応えられていない。</p>	<p>練習利用などホール以外の場所でも実施可能なニーズへの対応は、公共ホールの最適化を進める上で、必要な取組の一つであると考えており、練習利用可能な場所の適正配置や練習需要の移転などについても、今後、検討してまいります。</p>	E

5 案からの変更点

変更の概要	変更後の内容	変更前の内容
施設名称の記載についての御意見を踏まえ、P2、P5、P32 において、「男女共同参画センター（すくらむ 21）」の「（すくらむ 21）」を削除	(P.2) (5) 男女共同参画センター _____ (P.5) 男女共同参画センター _____ (P.32) (5) 男女共同参画センター _____	(P.2) (5) 男女共同参画センター <u>（すくらむ 21）</u> (P.5) 男女共同参画センター <u>（すくらむ 21）</u> (P.32) (5) 男女共同参画センター <u>（すくらむ 21）</u>

※ その他、用語・用字の修正など、所要の整備を行っております。

**「公共ホールの最適化に向けた取組方針（案）」に係る
パブリックコメントの実施結果について
令和8（2026）年2月**

【お問い合わせ先】

川崎市総務企画局公共施設総合調整室

電 話 ： 044-200-2346

F A X ： 044-200-3627

E-mail ： 17koukyo@city.kawasaki.jp